

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年8月26日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年8月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機海水出口ヘッダフランジ部の防食テープの剥がれについて】 当社社員が作業現場に向かう途中、5号機海水出口ヘッダフランジ上部の防食テープが大きく剥がれ、剥き出しになっているフランジ部に雨水が触れ滴下していることを確認。 また、フランジ下部も防食テープのひび割れが有った。 今後、当該箇所を修理予定。	GⅢ	8月20日
2	【多核種除去設備処理水の貯槽タンク水位計の指示不良について】 当直員が、多核種除去設備処理水の貯槽タンク水位計の指示不良を知らせる警報が発生したことを確認。 現場にて、水位計の初期化をしたが再び警報が発生。 貯槽タンクの排水弁を全閉にしタンクからの漏えいがないこと、および、タンクの連絡弁を開にし水位確認をしたところ、変動がなかったことより、水位計の故障と判断。 今後、当該計器を交換予定。 当該タンクは水移送を行っておらず、連結弁開による代替監視が可能なため、水位監視への影響はない。	GⅢ	8月23日